

広島県・広島市
民児協の活動紹介



令和5年度 第92回 全国民生委員児童委員大会 ~広島大会~

位置図 	民児協名	庄原市民生委員児童委員協議会			QRコード	
	所在地	広島県庄原市中本町一丁目10番1号				
	人口	32,343人	世帯数	14,984世帯	高齢化率	44.3%
	民生委員児童委員数 ()内は主任児童委員数(再掲)					法定単位民児協数
	男	女	計	10地区		
	88(9)人	67(7)人	155(16)人	(令和5年4月1日現在)		

地域の状況

美しく輝く 里山共生都市 しょうばら

庄原市は、広島県の北東部、中国山地の山々(1,200m級)と豊かな森林(ブナの原生林など)に囲まれ、河川沿いに複数の市街地と大小の集落を形成しています。

特に、比婆山は、古事記にまつわる神話の地(イザナミノミコトが眠る地)として、さらには類人猿「ヒバゴン」(未確認生物)の出没地として全国に知られ、その広大な面積(1,246.49km²)は、全国自治体の中では13番目、近畿以西で最大の広さを誇っています。

先人から受け継いだ“ふるさと”を未来に継承し、美しく輝く、「里山共生都市」の実現をめざしています。



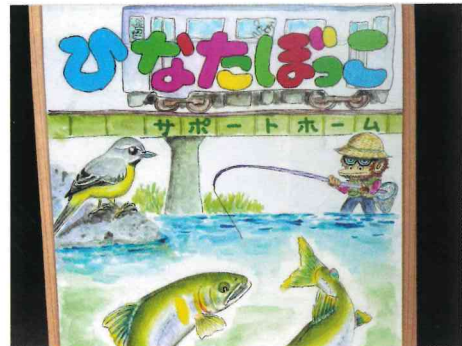
三河内地区「つなぐ棚田遺産」

寄り添う活動

誰もが笑顔で暮らせる地域のために

市民児協では、支援が必要な人や困りごとを抱えた人を早期に発見し、寄り添い、適切な支援機関につなげていくことを重点に掲げ、取り組みを進めています。

例えば、活動の支えとなる「主任児童委員活動ハンドブック」の作成や、令和5年度には、社会福祉協議会が行う不登校の子どもを支援するサポートホーム「ひなたぼっこ西城」の立ちあげに協力しています。また、市が行う「ひきこもりの実態調査」への協力など、誰もが笑顔で暮らせる地域社会をめざして、行政や関係機関等と連携を図り、地域の実情に応じた取り組みを進めています。



サポートホーム「ひなたぼっこ西城」

災害に備える活動

誰ひとり取り残さない取り組み

災害に備える取り組みの基本方針として、近年頻発する自然災害に対し、平常時から災害に備えるため、避難行動の支援体制づくりに協力するとともに、早期避難の声かけや避難所においては要支援者の把握に努めるなど、誰ひとり取り残さない取り組みを掲げています。

また、要支援者の名簿更新や個別支援計画策定に協力するため、毎年、対象者の自宅を訪問し、生活状況の把握に努めるとともに、緊急時の連絡先や避難先の確認を行うなど、誰ひとり取り残さない取り組みを進めるために、平常時から災害に備える活動を行っています。



地元消防団との訪問活動